

## “「熱測定」誌に関するアンケート” 集計報告

「熱測定」編集委員会では、本会誌に関するアンケートを昨年のVol.15, No.2 (1998年4月発行)に掲載し、また昨年の熱測定討論会(1998年10月, 横浜)会場でも同アンケート用紙を配布して、会員皆様からのご回答をお願いしてまいりました。

これからさらにご意見を寄せいただくこともあるかと存じますが、本年8月末現在での本アンケート集計結果を以下にご報告申し上げます。

ここで、[ ]内の数字は○印をつけられた数、・は寄せられたコメントです。

回答数：24通 (1999年8月末現在)

### A-1. これまでの会誌に掲載された各項目について

- a. 大変満足, b. まあ満足, c. どちらでもない,  
d. やや不満, e. 大変不満

1. 装丁	a [3] b [16] c [3] d [2] e [0]
2. 和文論文	a [3] b [16] c [6] d [3] e [0]
3. 英文論文	a [1] b [14] c [5] d [2] e [0]
4. ノート	a [1] b [11] c [7] d [2] e [0]
5. 総合論文	a [5] b [12] c [4] d [1] e [0]
6. 総説	a [5] b [10] c [5] d [1] e [0]
7. 解説	a [5] b [12] c [5] d [0] e [0]
8. フロギストン	a [8] b [6] c [5] d [2] e [1]
9. レポート	a [0] b [10] c [9] d [2] e [0]
10. 応用研究	a [0] b [9] c [9] d [2] e [0]
11. 小特集	a [2] b [9] c [8] d [0] e [0]
12. 追悼	a [3] b [5] c [10] d [0] e [0]
13. 会員・会報	a [2] b [9] c [8] d [1] e [1]
14. 幹事会のページ	a [2] b [9] c [10] d [0] e [1]
15. 広告	a [3] b [6] c [12] d [1] e [0]

### A-2. これまでのもの以外に、さらに加えるべき項目がありましたら具体的にご記入ください。

- ・技術情報, 会員の声, Q&A, 熱測定関連の行事の一覧表

### B-1. 会誌発行回数について。

- [6] 1. 年間4冊発行とする。  
[16] 2. 年間5冊発行とする。

### B-2. 会誌の発行回数を年5冊とした場合、増冊分について、どのような内容とするのが良いとお考えになりますか。

- [4] 1. 普通号とする。  
[15] 2. 英文特集号に当てる。  
[6] 3. 和文特集号とする。  
[1] 無回答。

### B-3. 増冊分を特集号とした場合の構成についていかがいますか。

- [6] 1. オリジナル論文のみ掲載。  
[12] 2. レビュー特集 (例えば、討論会の特別講演などの特集)。  
[3] 3. 討論会の講演要旨の英文紹介特集。  
[7] 4. その他 (オリジナル論文+レビュー)。

#### <コメント>

- ・国際会議、特別講演のレビュー集、または企画特集
- ・オリジナル英文論文をからめたもの
- ・解説+論文をある一つのテーマに沿って編纂する

### B-4. 増冊分を英文号とした場合、配付方法はどれが良いとお考えになりますか。

- [4] 1. 会員のみを送付する。  
[6] 2. 英文号を海外の非会員に無料で寄贈する。  
[12] 3. 英文号を海外の非会員に有料で販売する。  
[3] 無回答

#### <コメント>

- ・基本的には有料とし、日本の熱測定討論会、参加経験のある様な関係の深い人には無料にする。

### C. 会誌に測定上のテクニック、装置材料などの情報紹介を中心とする技術レポートの欄を加えることを検討しております。これについて、お答え下さい。

#### C-1. 技術レポートの欄を作った場合、希望されるレポート、テクニック項目などがありましたらお書きください。

- ・基本的ではあるが、教科書、マニュアルには書いていない測定のコツ
- ・以前の「初心者のための熱分析」のより具体的なノウハウ集 (例; 微粉体の調整, 測定テクニック)
- ・測定上のテクニックでQ&A的なもの。DSCの $C_p$ の精度

- 向上の工夫。TMA, TG/DTA, DSCなどの低温, 高温測定の工夫など。解析ソフトの中身
- ・正しいDSCの使用法, データ評価
  - ・できるだけ一般性のある基本的テクニック
  - ・パルスカロリメトリーについて
  - ・測定例を多く載せてほしい
  - ・固体粉末を液中に分散させた系のITC測定
  - ・TG-MS
  - ・高温での素線の絶縁方法など, 熱量計マイクロ化のアイデアなど
  - ・センサー, 素子などの最新情報, 測定法の詳細, 工夫
  - ・極限状態(例えば超高温, 極低温における測定方法, 材料など)
- D. 今後の改善に向けてご意見・ご提案をお聞かせください。
- ・会誌に風格を与えるには, 論文のページを適当な大きさにする事と, 図表にゆったりしたスペースをさく事です。財政的に難しいでしょうか?
  - ・「熱力学の教育方法」等の紹介などを行っては。
  - ・特定の課題についての企画特集を計画的に考える。講座(初級・中級・上級)を連載としてまとめる。
  - ・最近の内容が少ない。
  - ・もう少し論文(できれば解説やノート)を多くしてほしい。
  - ・応用より基礎を。また, 熱測定の基礎と結びついた応用を主に。
- ・オリジナル論文の掲載をやめる。より多くの学会員に読まれるように, 読みやすい論文を多くする(例えば, 専門でない人, 学生に)。
  - ・学会誌の掲載論文数が少ないと感じる。
  - ・年2回くらい, 英文オリジナル(1件くらいは, 総合論文, レビューがあってもよい)論文のみの号を出すことが出来, 海外にも広く配布できれば, 理想に近づける。
  - ・熱エネルギーの有効利用研究などの論文・項目を設けて欲しい(増やして欲しい)。
  - ・印刷技術というか, プリント状態の改善を切に希望する(紙質なのか, インクか, 種々の会誌の中では一番悪い)。
  - ・和文論文を2, 3件増やす。
  - ・現形式での英文号は必要ないと思う。
  - ・英文特集号にしても質の高い論文を投稿するつもりの方がいるのか疑問である。
  - ・討論会参加者にアンケート調査を行い, 発表の中から「熱測定」の記事にするものを推薦してもらう。
  - ・このようなアンケートを討論会で定期的に行う。
- 今回のアンケートへ貴重なご意見をお寄せいただきました会員の皆様に, 御礼を申し上げます。これらの結果や, ご意見・ご提案を参考とさせていただき, 本会誌の一層の向上を目指してまいります。今後もアンケートや「会員のページ」など様々な機会を設けてまいりますので, 会員皆様から多数のご意見・ご希望をお寄せ下さることをお待ちしております。